

テーマ

「ネットワーク特性からデータ間の関係性を予測する技術の実用化例」

**講演者： 株式会社 神戸デジタル・ラボ
データ事業部 執行役員/事業部長
山口 和泰 氏**

**日時： 令和元年10月18日（金）
15：20～17：00**

**場所： 知識科学系研究棟 I 棟 4 階
フリースペース**

講演要旨：

データ活用の技術が発達すればするほど、ユーザー一人一人の特徴に合わせたサービスが提供されます。情報のパーソナライズは利便性をもたらす一方、行き過ぎれば新しいものとの出会いを無くしてしまう可能性があります。このような問題を解決するために、2010年より京都大学と、多種多様なデータに対してデータ間の未来の関係性を予測する技術「関係性技術」の研究を進めてきました。関係性技術は、過去の行動から推測される情報との出会いに留まらず、本来あったはずの偶然の出会いを提供してくれます。本講演では、京都大学との産学連携内容、関係性技術の実用化を推進するフォーラムの存在、そしてフォーラム会員らによる実用化事例の成功・失敗談をお話しします。

講演者略歴：

2000年北陸先端科学技術大学院大学修了。同年株式会社神戸デジタル・ラボに入社。2007年から複数の産学連携プロジェクトの立ち上げにかかわる。通信ネットワークやデータベースなどのシステムアーキテクチャの研究開発に従事。2011年より大学との研究成果を用いた自社プロダクト開発のマネジメント、マーケティングを担当。2012年より同社執行役員。